

ワークショップの流れ

1. 目的

PPP/PFI 事業応募に際し、最初に検討・アクションが必要なコンソーシアムの組成について、参加者にとって実務とノウハウの習得に役立てることを目的とします。

2. ワークショップの進め方

- ① 自己紹介
- ② 提案内容の検討
- ③ 発表

3. 検討事項（発表事項）

グループごとに、以下について検討いただき、最後に発表いただきます。

- ① **コンセプト**：チームで提案する事業計画のコンセプト、方針、テーマ等
- ② **計画概要**：改修業務、維持管理・運営業務、提案事業についての概要
 - ◇ 改修業務
 - ・設計（基本設計・実施設計）
 - ・校舎の一部解体・撤去
 - ・改修工事
 - ・北厨川児童センターの校舎内への整備 など
 - ◇ 維持管理業務
 - ・建築物保守管理
 - ・建築設備保守管理 など
 - ◇ 運営業務
 - ・警備業務
 - ・児童センターの運営業務 など
 - ◇ 提案事業
 - ・屋内運動場での市民サービス提供（独立採算） など
- ③ **実施体制**：チーム内の業務分担、役割分担。メンバーが担当できない業務については、メンバー以外から担当可能な事業者を設定（選定理由を含む。）
- ④ **チームの売り**：チームの提案の優れている内容、評価してほしい内容
- ⑤ **想定されるリスク**：事業実施にあたり想定されるリスクとそのヘッジ方法

本ワークショップは、コンソーシアムの組成体験による参加者のノウハウ習得を目的としたものであり、実際の事業実施を目的として検討するものではありません。

事業の概要

1. 事業名称

(仮称) 北厨川小学校大規模改修及び複合化事業

2. 事業の目的

北厨川小学校は、少子化に伴う児童の減少により余剰教室が発生しているため、校舎を減築し、北厨川児童センター（以下「児童センター」という。）を北厨川小学校へ機能移転することで、施設の有効活用を図ります。

なお、児童センターの小学校への機能移転については、夫婦共働き等に伴う登録児童数の増加により混みあっている児童センターがある中で、小学校の空き教室など社会資源を有効活用し放課後児童の安全な生活の場として整備を進めていくという側面と、現在の合築施設である老人福祉センターは、北厨川地区の地域拠点施設（※）と位置付け、当該地区におけるサービスの充実を図るという側面から、現在の方針としたものです。

※地域拠点施設とは・・・現に地域コミュニティの中核となっている施設又は将来的に地域コミュニティの中核とする施設で、児童から高齢者までの世代が利用可能な集会機能や健康増進等の機能を有するものをいいます。

3. 対象施設

- ・北厨川小学校 校舎・屋内運動場
- ・北厨川児童センター

4. 事業の内容

- 校舎及び屋内運動場の大規模改修を行う。
- 校舎の大規模改修に併せ、既存校舎の一部に児童センターの機能を移転するとともに、棟単位で減築可能な校舎は減築を行う。
- 校舎、屋内運動場及び児童センターの維持管理・運営を行う。

5. 事業方式

- ・RO（Rihabilitate Operate：改修後に維持管理運営を行う。）を想定。
- ・サービス購入型（市が、校舎及び屋内運動場の改修費、児童センター整備費及び維持管理運営に係る費用を、事業期間を通じて分割して、事業者を支払う方式）を想定。

6. 事業期間

15年（設計・工事期間含む）を想定。